

青森県から 北海道へ

氏名 十川 恒 寿

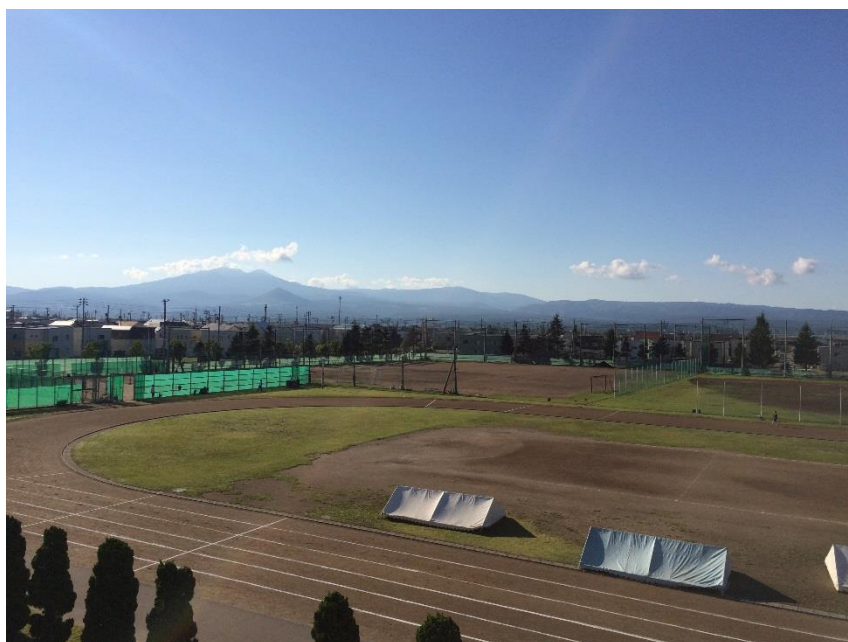
青森県立青森南高等学校 → 北海道札幌東高等学校

(期間：平成28年4月1日～平成30年3月31日)

1 青森県の教育

「グローバル化・情報化による社会の急速な変化」、「生徒の多様化」、「生徒数の減少」といったことが背景にあり、青森県の高校教育では将来の構想として、これまでいわれてきた「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」などの生きる力の育成を基本とした上で、「夢や志を持ち、より高い目標に向かって果敢にチャレンジする逞しい心」、「学校から社会への円滑な移行に必要な力」、「郷土に誇りを抱き、青森県の未来を力強く支えようとする心」これら3点の育成をより重視する傾向となっている。

学ぶ意欲や主体的に探求する力の向上への具体的取り組みとして、学習活動を単なる知識の蓄積にとどめず、自ら課題を探し求め解決できる力を育てるために、スーパーグローバルハイスクール指定校やスーパーサイエンスハイスクール指定校で実施されている探求型学習を指定校以外の高校に広めるために、成果発表会を開催している。さらに、科学技術や地域産業など特定分野に関心の高い生徒に対して、問題発見・解決能力育成合宿を行っている。



2 学校や地域の特色ある教育活動

- ・青森南高校では、家庭学習時間の記録をとり、家庭学習に対する取組の意識喚起を常に行っていた。
- ・1、2学年においてはサタデースクールという名称で、年5回程度の回数で、国数英の3科目について発展的な内容を扱う講義を行っていた。
- ・主に2年生から3年生に進級するタイミングの春休みに、希望者に対して進学合宿を校外で実施している。なお、日程は2泊3日となっている。
- ・希望者に対して、東北大学のオープンキャンパスへの引率を行っている。その際には、仙台市内の予備校にて講演会などを実施している。
- ・医師を志す高校生支援事業（青森県内の高校生対象）による難関大および医学部医学科志望者に対する短期集中講習を、長期休業中に行っている。
- ・体育の授業において、夏は水泳、秋はマラソン、冬はクロスカントリースキーといった生徒の体力を鍛える授業が行われている。

3 私が取り組んできた実践

○ 数学の授業における ICT を活用した授業実践

- ・数学 I のデータの分析における授業において、エクセルを利用して散布図や箱ひげ図を様々な実データを活用して相関関係やデータの散らばりについての理解を深めるための授業を実践した。



エクセルで作成した図表を黒板に表示



表示してある図表に直接チョークで書き足す